

## 私達ができること

沖縄県 大宜味中学校 二年 大湾 心晴

私は五年生の頃、自然学習で地域にある大保ダムのカヌー体験をしました。大保ダムでは、小さなかわいらしいクラゲが泳いでいる姿やあめんぼが自由に水の上を泳いでいる自然の美しい姿に感動しました。また、私も自然に囲まれてリラククスした状態でカヌーができてとても幸せな気持ちになりました。このようにクラゲやあめんぼなどのような生き物も、私のような人間にとっても水はかけがえのない存在だと思います。

しかし、そんな水に危機がせまっています。なんとニュースで大保ダムの貯水率が約三〇パーセントしかないことを報道していました。そこで私は水を保つていくためにどうすればよいのかを考え、二つだけ実践してみることにしました。まずは、節水することが大事だと思いました。例えば、お風呂でシャンプーしている間や体を洗っている間に水を止めたり、お皿を洗うときもため水を使ったり、シャワーヘッドを節水型に切り替えることなどが挙げられます。そこで、私はお風呂でシャンプーしている間や体を洗っている間に水を止めてみました。すると、とってもしなくて今すぐに水を出したいという気持ちになりました。水は改めてかけがえのない存在だなと感じました。でも、ダムの貯水率のことと被災者の断水の状況、アフリカ大陸などの国では水が思うように使えないことを考えると頑張つて我慢し、暖かくなるにはどうすれば良いのか考えてみました。そこで、翌日暖かくなるために桶に水をためてその中に入れて足を温めてみました。すると、とても暖かくなりました。私はこれを三日間続けてみました。正直とても水を出したい気持ちになりました。でも、ダムのことを考えると我慢することができました。私は体感的に合計五分間くらい水を止めたと思います。

そこで、私はインターネットで一分間ぐらいにどれくらい水がシャワーから出るのか、日本人の平均のお風呂に入る時間は約三十分というこ

とと、お風呂に使う平均の水の量は二百リットルぐらいということがわかったのでどれくらい節水できたかを調べてみることにしました。一分間あたり約七リットルぐらい使うので五分で三十五リットル節水できます。今度は家族四人でやってみました。なので一日で約一四〇リットルも節水できるとわかりました。行動を一つ変えただけでこれだけ節水できるならみんながやればもっと節水できるとおもいます。皆さんも一緒にお風呂で水を止めてみませんか。

私は、最近お皿洗いの手伝いをするようになりました。これも節水できないかなと考えてみました。そこで私はバケツを使って水をためてみることにしました。まずは、洗剤でお皿を洗って泡を流す時にバケツに溜めた水を使って流しました。どれくらいの水が節水できたのか調べてみました。インターネットからの情報によると五分間で六〇リットルの水が蛇口から出てくるのがわかりました。その五分間は私が泡を洗い流す時間とほとんど同じなので六〇リットル節水することができます。でも、ため水の量がだいたい八リットルなので五十二リットル節水することができます。

これからも、私達は水とともに生きていくのです。だからこそ、シャワーの水をとめたり、ため水を利用することでたくさん水を節水して大事に保つていくことが大切だと思います。みなさん、もう一度「水」について考えてみませんか。